Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

① 5月23日：

新しいITUテレコムボードが戦略を策定

業界リーダー達はITU TELECOMがIT産業の変化に即応するように注目

New ITU TELECOM Board of Directors sets strategic course

Industry leaders focus on meeting needs of fastchanging ICT industry at ITU TELECOM

（出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/NP06.html）

ITU TELECOMの将来の方向性を決めるため、主要グローバルIT企業や組織のトップの代表で構成される新しいITUテレコムボードメンバーによる会合がジュネーブで開催された。

ボードは、TELECOMがグローバルなネットワークのプラットフォームになるように、2007～2009年のTELECOMイベントの新しいスケジュールに加え、ハイ・レベルのビジネス・ミーテイング、TELECOMから独立したフォーラム、催事場スペースの拡張など一連の革新的な提案を行った。

ITU TELECOMは、専門の展示会業者との協力関係を築き、運営資金面からいくつかのイベントを外部委託する予定である。

② 5月25日：

ITU TELECOM EUROPE 2007をキャンセル

決定はこれから計画される多数のプロジェクトやイベントに道を開く

ITU cancels ITU TELECOM EUROPE 2007

Decision will pave way for a host of new projects and events

（出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/11.html）

今年12月に開催が予定されていたブルガリアのソフィアでのITU TELECOM EUROPE 2007がキャンセルとなった。

この決定は、多数の新しい計画やITU TELECOMのイベント開催能力と資源を集中させるために取られた。

この発表は、第1回ITU TELECOM ボードでのITU TELECOM EUROPE 2007中止勧告の後に行われた。

③ 5月31日：

IMT-2000無線インターフェースがOFDMA技術で拡張

ITU-Rワーキングパーティー8Fが京都で審議を終了

IMT-2000 radio interface expanded with OFDMA technology

ITU-R Working Party 8F concludes deliberations in Kyoto, Japan

（出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/12.html）

京都で開催されていたITU 無線通信セクター（ITU-R）のワーキングパーティー8F（WP 8F）第22回会合が、IMT-2000の新しい地上波無線インターフェースで、WiMAXの重要な構成要素であるOFDMA、TDD、WMAN* の承認を進めるための重要な段階にたどり着いた。

この新しい地上波無線インターフェースは、IMT-2000無線インターフェースの既存ファミリーを補足し、成長し続けるワイヤレス市場に焦点を当てるITUメンバーの要求に直接に答えるものである。

*OFDMA：Orthogonal Frequency Division Multiplexing Access
TDD：Time Division Duplexing
WMAN：Wireless Metropolitan Area Network

④ 6月7日：

新しいオンライン・ツールがサイバーセキュリティ標準の開発をチャート化

サイバーセキュリティ設計者へ必須のガイダンス

New online tool charts cybersecurity standards developments

Essential guidance to cybersecurity architects

（出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/NP07.html）

ITUは、一つのアクセス・ポイントに重要なICTセキュリティの標準化作業の情報を集約したオンライン・ツールを開発した。 セキュリティベンダー、サービス・プロバイダ、ディベロッパー、研究者や一般の人々が、初めて、一つの共通のユーザーインターフェースによりすぐに利用できるようになる。

このツールは、ICT Security Standards Roadmap*と呼ばれ、世界の重要な標準開発者による既存の標準と進行中の作業に関する情報を収集する。 これは、ITU、the European Network and Security Information Agency (ENISA)とthe Network and Information Security Steering Group（NISSG）の共同作業で作られた。

* http://www.itu.int/ITU-T/studygroups/com17/ict/

E-flash

⑤ ITU-T e-flash No.31 （2007年5月）
（出展：http://www.itu.int/ITU-T/e-flash/031-may07.html）

・NGNのサービス品質のためのプロトコル
Protocols outline QoS for NGN

4月末にジュネーブで開催されたSG11会合において、NGNのためのサービス品質のプロトコルに関する三つの重要なドキュメントが承認された。このプロトコルは、ネットワークエレメントとシステム間のインターオペラビリティを確保するものである。

・IdM、オンラインでの作業で進捗
Online identity work will solve key security issues

IdMの世界的協調の最初のステップとして、2月と4月にジュネーブで開催されたFG-IdM会合（IdMフォーカスグループ会合）に、IdMの世界的キープレーヤーが一堂に会した。

・ISO, IEC及びITU、共通のパテントポリシーに合意
ISO, IEC and ITU agree on common patent policy

世界の先進的国際標準化団体は、パテント政策で協調することで合意した。

・携帯電話チャージ・イニシアチブ
Mobile telephony charges initiative

最近のSG3会合において、固定と移動の料金の差を縮めることを目的とした分析が更に必要であることが、議論された。

・ジュネーブモーターショーにおいて、ネットワークカーに関するWSCのワークショップが開催された。
World Standards Cooperation workshop on "networked car" at Geneva Motor Show

3月9日に終了したジュネーブモーターショーで、ネットワークカーのワークショップが開催され、191名の参加があった。

・NGNにおけるマルチメディア
Multimedia in NGN

ITU-Tは、9月10日から11日まで、ジュネーブにおいて、NGNにおけるマルチメディアに関するワークショップを開催する。

・世界電気通信データ辞典
The Global Telecommunications Data Dictionary

SG4は、運用支援システムの端末利用者向けのデータ定義に関する一連の勧告の審議を行っている。この定義により、事業者間で、サービスオーダーやネットワーク・ルーティング・アレンジメントのような運用関連項目に関してより効率的に疎通できるようになる。

・ITU-TとIEEEの通信事業者向けのイーサネットに関するイベント
ITU-T/IEEE Carrier Class Ethernet Event

5月31日から6月1日まで、ITU-T及びIEEEは、通信事業者向けのイーサネットに関するワークショップを開催する。ITU-T及びIEEEは、これまで、イーサネットの発展に多大なる貢献をしてきたが、このワークショップでは、今後のコラボレーションの機会について焦点が当てられることとなる。

・IPTVに関する論文募集
Call for IPTV Papers

2人のITU-T　FG-IPTVの副議長は、IEEEコミュニケーション誌の招待編集者（ゲスト・エディター）となる。ETRIの

Chae-Sub Lee氏及びBTのSimon Jones氏の両名が編集する、同誌2008年2月号ではIPTVシステムに関する事項を広く取り上げる予定であり、投稿論文を募集している。

⑥ ITU-D e-flash May 2007
（出展：http://www.itu.int/ITU-D/e-flash/latest.html）

・第12回TDAG開催
12th Telecommunication Development Adversory Group（TDAG）

標記会合が2007年4月にジュネーブで開催され、ITU-Dの財政計画、WSISアクションラインC2（ICTインフラ基盤）、第7回グローバルレギュレータシンポジウムなどが報告・議論された。

・公共及びプライベートセクター関連課題に関するアジア太平洋地域分科会
Regional Working Group on Public/Private Sectors Issues for Asia-Pacific

標記会議が4月にニューデリーで開催された。今年の主要議題は、通信手段を持たない人々のための低価格モバイルソリューション、レガシーネットワークからNGNへの移行、災害時マネジメントなどであり、有益な情報が提供されるとともに、白熱した議論が交わされた。

・緊急通信
Emergency Telecommunications

ITU、アラブ連盟、並びに関係国際機関の協力の下、“災害救助とマネジメント：国際協力とICTの役割”と題した地域会議が4月14-17日にエジプト アレキサンドリアで開催された。

・第5回プライベートセクター作業部会開催
TDAG Working group on private sector（WGPS）

第12回TDAG会合に先立ち、4月16-17日に第5回プライベートセクター作業部会がジュネーブで開催された。会合結果はTDAG会合において作業部会議長から報告された。会議では、4人を地域作業グループの議長兼プライベートセクター作業部会副議長に指名した。

・サイバー規制法の原則に関する太平洋島嶼国のためのワークショップ
APT/ITU/PITA Workshop on Principles of Cyber Legislation for Pacific Island Countries

APT/ITU/PITAの共催による標記ワークショップが3月28-30日にニュージーランドのオークランドで開催された。参加国は15で、太平洋島嶼国におけるサイバー規制に関するロードマップを議論し、いくつかの原則に合意した。

・途上国のためのスペクトル管理ソフトウェアに関するITU地域研修
ITU Regional Training on Spectrum Management Software for Developing Countries（SMS4DC）

ITUとカンボジア郵電省の主催により、標記研修が4月9-12日にカンボジアのプノンペンで開催され、後発途上国を含む11か国より19人が参加した。